

1 単 元 名 かってみよう

2 指導要領の目標と内容

(1) 目 標

身近に見られる生物を探したり世話をしたりさせて、生物の著しい特徴に気付かせるようにするとともに、生物に親しむ楽しさを味わわせる。

(2) 内 容

いろいろな動物を探したり飼ったりさせながら、動物の食べ物、体の形、動きなどの特徴に気付かせる。

3 活 動 例

いろいろな動物の形や動きの特徴をとらえる。

例 1 学校で飼っている動物に餌をやりながら、動きや体の形を見よう

- ウサギに餌を与えながら。
- ニワトリ、チャボに餌をやりながら。
- 小鳥に餌をやりながら。
- ハムスターに餌をやりながら。
- キンギョに餌をやりながら。
- カメに餌をやりながら。

※ 動物によって食べ物の種類に違いがあることにも気づき、動きもとらえられる。

例 2 動物との遊びを工夫して、仲よく遊ぼう。

- ウサギとかけっこして遊ぶ。
- ウサギと山登り競争をして遊ぶ。
- ニワトリやチャボとおどりをしながら遊ぶ。
- ヒヨコに餌をやったり、だいたりして遊ぶ。
- キンギョの水槽に鏡を入れて動きをうつしてみる。



図 1

※ 下からのぞくと、動きがはっきりとらえられる。(教育出版)



図 2 ※ 学校で飼っている動物の実態に応じて遊び方を工夫させる。(教育出版)

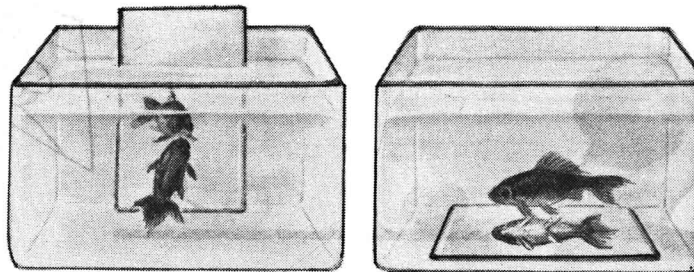


図 3 ※ 水槽に鏡を入れる。手で水をかきまぜながら鏡にうつる魚の動きを見ることができる。

(教育出版)